**総合学習 学習指導略案**

１　校種・学年　高等学校・第１学年

２　本時の目標

・統計データを用い、データを分析する力とグラフを作成する力をつける。

・自立していくための必要経費を認識させる。

・発表した結果をもとに新しい目標を見つけさせ、そのために今後どのようなデータを集める必要があるかを考えさせる。

　 ＜本時の展開＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **生徒の学習活動** | **指導上の留意点** | **備考** |
| 導入 | ・高校卒業後に仮に就職したと仮定して、生活していくために必要な生活費をイメージさせて、ワークシート用紙に書かせる。（個人作業） | ・扶養されている環境で、金銭感覚が未熟なため、それほど費用が掛からないという甘い予想になりがち。  ・生徒の発言に応じ、肯定的な言葉がけを行う。  ・日常生活で、お金を支出する場面の振り返りを問いかける。 |  |
| 展開 | ・グループ（5人1組）を作り、各々が記入した生活費について討議し、必要な生活費について、グループで予想をたてさせ議論する。  ＜予想の例＞  一人暮らしをしても、十分にやっていけるのではないか。 | ・個人作成の生活費からグループでもれのないように生活費を議論して作成する。 |  |
| ・統計データから実際に必要な生活費を調べさせる。  （１世帯当たり品目別支出金額  ：家計調査 平成26年）  ・予想が正しいか、調べたデータからグラフを作成し、予想のグラフと比較する。 | ・グラフは、生徒が作成したいと考えている内容を尊重する。  ・グラフ等で根拠を明示させる。 | ・インターネットを利用した統計データの見つけ方を支援する。 |
| ・比較した結果について、グループで討議する。他の統計データとも比較する。  ＜反応の例＞  ・生活するには、予想以上の費用が必要である。  ・食費が多い。  ・グラフについて、どういうことが読み取れるのか考え、発表する。  ＜反応の例＞  ・家族に学生がいれば、生活費以外に学費などが別に必要である。親の負担がわかった。  ・他のグループの費用内訳の違いを考える。 | ・「生活費は何が多いのか？」　また、「その理由はなにか？」等の問いかけを行い、予想との違いをまとめる。  ・実際に作成したグラフを用いて、読み取れることを発表する。 |  |
| まとめ | ・発表した結果をもとに、新たなテーマを考え、そのためにはどのようなデータを付け加えればいいのかを考えさせる。  ･感想をかかせる。 | ・課題を解決するためには統計等を利用して、現象を中立・公平にとらえ、客観的な分析を行っていくことが非常に重要であることを学ぶ。 | ・予想（仮説）を立てることが重要であることを説明 |